



## 福島大学教職実践研究科から

### ご挨拶

「教職大学院ってどんなところ？」「院生たちはどんなことをしているの？」そんな声をお聞きすることがよくあります。

そこでこの「教職大学院便り」では、県内学校園や教育委員会の皆様に、院生の日常についてお伝えしていきたいと思ひます。そして、現職院生を送り出して下さった教育委員会、学校の先生方、教職大学院に興味のある方、これから院生たちがお世話になるであろう学校の先生方に教職大学院について少しでも知っていただければと思ひます。

不定期とはなりますが、授業と連携協力校での実習はもちろん、様々なことで毎日頑張っている院生たちの姿をお伝えしていきます。

教職実践研究科 研究科長 宗形潤子

## 福島大学大学院教職実践研究科

福島大学公式キャラクター  
めばえちゃん

# 教職大学院便り

令和5年12月5日 発行 NO.1

大学院の講義では、知識を得る座学だけでなく、小グループで討論して発表したり、自分でレポートをまとめてプレゼンテーションをしたりすることもあります。経験のある現職派遣の院生と学部卒院生が一緒になって、事例について話し合ったり、授業研究について意見を出し合ったりします。現場で当たり前のように行っていたことも、学部卒院生からの素朴な疑問から、核心にせまることができたり、自分自身を振り返ることができたりします。

現職派遣院生と学部卒院生の違いがありますが、それぞれ経験年数、校種、専門も異なります。研究テーマも様々ですが、講義の中で学んだことがそれぞれ関わり合って、自分の研究につながっていきます。院生同士の関わりを大切にしながら学んでいます。

## 大学院の様子





# 教職大学院便り

令和5年12月5日 発行 NO.1

## 大学を飛び出して・・・



震災遺構 請戸小学校  
校舎内の様子

講義の一環で、双葉郡の視察に行きました。新しく建築された近代的な建物と、帰還困難区域として手つかずのままになっている森林や家屋のコントラスト・・・。県内に住んでいても足を運ぶ機会が少なく、震災以降はじめて双葉郡の実状を目の当たりにする院生も多くいました。実際に双葉郡で震災を経験した方や復興に関わっている方の話を聞くことができ、貴重な経験をしました。講義では、フィールドワークをふまえて、県内の教育課題についてまとめ、共有しました。

また、他にも大学院の講義では、現場でモデル・リーダーとして活躍されている先生方にお話をうかがう機会も多くあります。

講義だけでなく、各種講演会やセミナーなども開催されており、院生だけでなく、多くの先生方が自主的に参加されています。自分が学びたいことを学べる機会がたくさんあります。

## 各種セミナー充実しています

教職大学院の  
詳しい情報はこちら↓



入試情報はこちらから→



<お問い合わせ先>  
福島大学 人間発達文化学類 支援室  
Mail: ningen@adb.fukushima-u.ac.jp  
Tel: 024-548-8103